

- 問1 マルコ・ポーロが著した『世界の記述（東方見聞録）』において、当時の日本について述べられた記述として正しいものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 免罪符の販売に対して宗教改革が起こり、キリスト教の新しい宗派が誕生した地として紹介された | 2. ローマ帝国が東西に分裂した影響を受け、独自の仏教文化が開いている国として紹介された | 3. 種子島に鉄砲が伝来したことで、戦国大名による武力抗争が激化している様子が紹介された | 4. 王の宮殿は純金でできており、屋根や床も金でふかれているほど豊かな島国であると紹介された |
|---|--|--|--|
- 問2 鎌倉時代に広まった新しい仏教に関する記述のうち、栄西や道元によって伝えられた宗派（禅宗）の特徴や影響について述べたものとして正しいものはどれか選びなさい。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日蓮によって開かれ、社会の混乱を鎮めるために題目を唱えることを重視し、他宗派を厳しく批判した。 | 2. 臨済宗や曹洞宗が含まれ、その精神は後の水墨画や茶の湯といった日本文化の形成にも大きな影響を与えた。 | 3. 親鸞によって開かれ、自分の罪を自覚した者がこそが救われるという「悪人正機」の考えを説いた。 | 4. 一遍によって広められ、踊りながら念仏を唱えることで、多くの庶民の心を捉えた。 |
|--|--|--|---|
- 問3 源頼朝が征夷大將軍に任じられ、武士による政治が確立された鎌倉時代において、禅宗が武士の精神的支えとして広く受け入れられた理由として、最も適切な説明はどれか選びなさい。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 法華経こそが正しい教えであると説き、幕府に対して強い忠誠心を持つよう指導したことが、支配体制の安定に寄与したから。 | 2. 加持祈祷によって現世での利益や国家の安泰を願う儀式が、武家政権の権威を象徴するものとして利用されたから。 | 3. 厳しい修行を通じて自己の精神を鍛え、迷いを断ち切ろうとする実践的な姿勢が、命を懸けて戦う武士の気風に合致したから。 | 4. 「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで誰でも極楽浄土へ行けるという平易な教えが、学問の機会が少なかった地方武士に歓迎されたから。 |
|--|---|--|---|
- 問4 鎌倉時代において、栄西や道元が中国（宋）から伝えた禅宗が、武士の政権である幕府に厚く保護された理由として、その教理の特徴から考えられる説明はどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 貴族のような華やかな儀式を重ねる作法が、武家社会の教養として取り入れられたため。 | 2. 念仏を唱えるだけで救われるという教えが、多忙な武士の生活に合致したため。 | 3. 厳しい座禅や修行を通じて自己を鍛錬する姿勢が、武士の精神修養に適していたため。 | 4. 国分寺を建立して国を守るという思想が、全国を支配する幕府の権威付けに利用されたため。 |
|---|---|--|---|
- 問5 現在の福岡県にある博多湾沿岸の地形図において、海岸線に沿って「史跡」として記されている、鎌倉時代に石を積み上げて作られた建造物の名称を選びなさい。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|---------|---------|
| 1. 金田城 | 2. 水城 | 3. 元寇防塁 | 4. 環濠集落 |
|--------|-------|---------|---------|
- 問6 北条泰時が定めた御成敗式目（貞永式目）の内容には、「たとえ土地の本来の持ち主が別にいたとしても、武士が20年の間その土地を実際に支配し続けているならば、その支配権を正式に認める」という規定があります。このような基準が設けられた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 貨幣経済が浸透し、土地を担保に借金をする武士が増えたため、彼らの生活を保護するために徳政令を出したため。 | 2. 承久の乱の後、新たに任命された地頭と荘園領主との間で土地トラブルが頻発し、裁判の迅速な解決が求められたため。 | 3. 朝廷の権威を弱めるために、律令などの古い公家法を全面的に廃止し、全国に武家独自の土地制度を強制したため。 | 4. 元寇の際の恩賞が不足したため、武士が有力な農民の土地を強制的に奪うことを幕府が合法化しようとしたため。 |
|---|---|---|--|
- 問7 鎌倉時代後半、二度にわたる元軍の侵攻（元寇）を退けた後、幕府の支配体制は揺らぎ始めました。戦いには勝利したものの、幕府に仕える「御家人」の生活が困窮し、不満が高まった理由として最も適切な説明を選びなさい。（2018年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 元軍に勝利したことで宋との貿易が途絶え、物資が不足して急激なインフレーションが起きた。 | 2. 元軍との戦いにおいて、幕府が御家人に領地の半分を返還させる「徳政令」を強制的に出した。 | 3. 幕府が御家人よりも足輕を優遇する軍制改革を行ったため、伝統的な武士の特権が失われた。 | 4. 防衛のための戦いであったため、幕府は恩賞として御家人に分け与える新たな土地を確保できなかった。 |
|--|--|---|--|
- 問8 13世紀後半に元軍が日本へ侵攻した際、当時の様子を描いた絵巻物には、日本の武士が苦戦する様子が描写されている。元軍が用いた、当時の日本の武士には見られなかった戦い方の特徴として正しいものはどれか。（2020年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|--|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 巨大な軍船を並べて海上に橋を作り、陸路から騎馬隊を突撃させる戦術 | 2. 太鼓などの合図による集団戦法や、「てつほう」と呼ばれる火器を用いた戦術 | 3. 名乗りを上げてから一対一で戦う一騎打ちを基本とした戦術 | 4. 鉄砲を組織的に利用し、防塁の背後から一斉射撃を行う戦術 |
|-------------------------------------|--|--------------------------------|--------------------------------|
- 問9 1221年に発生した承久の乱において、朝廷軍を破った鎌倉幕府が、朝廷を監視し、あわせて西国の武士を統制するために京都に新しく設置した役所はどれか。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|-------|----------|
| 1. 評定衆 | 2. 鎮西探題 | 3. 政所 | 4. 六波羅探題 |
|--------|---------|-------|----------|
- 問10 1221年に後鳥羽上皇が、源頼朝が亡くなった後の鎌倉幕府の混乱に乗じて、朝廷の権力を取り戻そうと兵をあげた出来事を何といいますか。（2022年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 平治の乱 | 2. 承久の乱 | 3. 応仁の乱 | 4. 壬申の乱 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 1185年、源頼朝が朝廷から設置の許可を得て、全国の支配を強めるために置いた役職について、その配置場所と役割の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 荘園や公領ごとに置かれた守護が土地管理を担い、国ごとに置かれた地頭が軍事・警察を担った | 2. 国ごとに置かれた守護が検地を行い、荘園ごとに置かれた地頭が武士の教育を担った | 3. 国ごとに置かれた守護が軍事・警察を担い、荘園や公領ごとに置かれた地頭が年貢の徴収や土地管理を担った | 4. 藩ごとに置かれた守護が年貢の徴収を担い、村ごとに置かれた地頭が警察権を行使した |
|--|---|--|--|
- 問12 12世紀後半、武士として初めて朝廷の最高職である太政大臣の位につき、日宋貿易を推進するなどして平氏の全盛期を築いた人物は誰ですか。（2021年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. 北条時宗 | 2. 平清盛 | 3. 源頼朝 | 4. 藤原道長 |
|---------|--------|--------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 王の宮殿は純金でできており、屋根や床も金でふかれているほど豊かな島国であると紹介された	マルコ・ポーロは実際に日本を訪れたわけではありませんが、滞在先の元で聞いた噂をもとに、日本（ジパング）を莫大な金が産出される「黄金の国」として描写しました。この伝説的な記述は、後にコロンブスが大西洋を渡ってアジアを目指す動機の一つになったと言われています。選択肢にある宗教改革や鉄砲伝来、ローマ帝国の分裂などは、時代背景や地域が異なる出来事です。
問2	答え 2 臨済宗や曹洞宗が含まれ、その精神は後の水墨画や茶の湯といった日本文化の形成にも大きな影響を与えた。	禅宗には、幕府の保護を受けて都市部で発展した臨済宗と、地方の武士や民衆に広がった曹洞宗があります。禅の精神は宗教の枠を超え、室町時代以降の水墨画、枯山水の庭園、茶の湯など、簡素で深みのある「わび・さび」に通じる日本独自の文化を形作る重要な要素となりました。他の選択肢は浄土真宗、時宗、日蓮宗の説明です。
問3	答え 3 厳しい修行を通じて自己の精神を鍛え、迷いを断ち切ろうとする実践的な姿勢が、命を懸けて戦う武士の気風に合致したから。	禅宗は、他者の力に頼るのではなく、座禅という厳しい修行を通じて自らの内面を見つめ、悟りを開く「自力」の教えです。常に戦場での決断を迫られる武士にとって、恐怖や雑念を捨て去り、精神を集中させる禅の技法は、単なる宗教以上の実践的な心の規範となりました。このため、幕府の要職にある武士たちの間で特に重んじられました。
問4	答え 3 厳しい座禅や修行を通じて自己を鍛錬する姿勢が、武士の精神修養に適していたため。	禅宗（臨済宗の栄西、曹洞宗の道元）は、座禅によって自ら悟りを開くことを重視しました。この自分を厳しく律し、精神を統一する修行のあり方が、生死をかけて戦う当時の武士の気風や道徳観と一致したため、鎌倉幕府やのちの室町幕府によって手厚く保護されました。「念仏を唱えるだけ」というのは浄土宗や浄土真宗の特徴であり、禅宗とは異なります。
問5	答え 3 元寇防塁	九州北部の海岸沿いに復元された石垣や、地図上で史跡として示されているこの構造物は、元の攻撃を防ぐために築かれた元寇防塁です。同じ九州北部には、古代に唐や新羅の侵攻に備えて築かれた「水城」などの防衛施設もありますが、13世紀のモンゴル襲来に関連するものは元寇防塁と呼ばれます。
問6	答え 2 承久の乱の後、新たに任命された地頭と荘園領主との間で土地トラブルが頻発し、裁判の迅速な解決が求められたため。	1221年の承久の乱を経て幕府の権限が西日本にも及ぶようになると、各地で地頭と荘園領主（公家や寺社）との対立が激化しました。北条泰時は、武家社会に馴染みの薄い複雑な公家法を用いるのではなく、武士の常識に基づいた公平な裁判の基準を明確に示すことで、武士たちの不満を解消し、幕府の統治を安定させる狙いがありました。この20年の支配を認める規定は、実態を重視する武士社会の考え方を反映したものです。
問7	答え 4 防衛のための戦いであったため、幕府は恩賞として御家人に分け与える新たな土地を確保できなかった。	鎌倉幕府の主従関係は、将軍が領地を保証・支給する「御恩」と、御家人が軍役を果たす「奉公」で成り立っていました。しかし、元寇は外国からの侵略を阻止する防衛戦であり、勝利しても奪える敵地がなかったため、莫大な戦費を負担した御家人に十分な恩賞を出すことができませんでした。これが幕府への忠誠心を低下させ、倒幕への動きに繋がりました。
問8	答え 2 太鼓などの合図による集団戦法や、「てつはう」と呼ばれる火器を用いた戦術	当時の日本の武士は、一對一の「一騎打ち」を伝統的な戦い方としていました。これに対し、元軍は組織的な「集団戦法」を採用し、さらに火薬を使った「てつはう」という武器で武士や馬を驚かせるなど、日本側にはない新しい戦術で攻撃を行いました。当時の戦場を描いた資料でも、馬に乗る武士の集団に対し、歩兵が密集して戦う元軍の姿が確認できます。
問9	答え 4 六波羅探題	承久の乱の結果、幕府は朝廷に対して圧倒的に優位な立場に立った。それまで朝廷の影響力が強かった西日本への統制を強めるため、また朝廷の動きを常に監視するために、京都に六波羅探題を設置した。鎮西探題は九州の防備などのために設置された別の役所である。
問10	答え 2 承久の乱	源頼朝が鎌倉幕府を開いた後、三代将軍の実朝が暗殺されるなど幕府が揺らいでいた時期に、後鳥羽上皇が倒幕を計画しました。しかし、北条政子が御家人たちの団結を訴えたことなどにより幕府側が勝利し、朝廷の勢力は大きく衰退することとなりました。
問11	答え 3 国ごとに置かれた守護が軍事・警察を担い、荘園や公領ごとに置かれた地頭が年貢の徴収や土地管理を担った	源頼朝は、対立した弟の源義経を捕らえるという名目で、朝廷から守護・地頭を設置する権利（権限）を認めさせました。守護は旧来の行政区分である「国」ごとに原則1人置かれ、軍事や警察の役割を果たしました。一方、地頭は個別の「荘園」や「公領」ごとに置かれ、現地の管理や税（年貢）の徴収を実務的に担当しました。これにより、幕府の支配力が地方まで及ぶようになりました。
問12	答え 2 平清盛	平氏は、保元の乱や平治の乱を経て政治の実権を握りました。一門で高位高官を独占し、大輪田泊を整備して宋（中国）との貿易を盛んに行うことで経済力を蓄え、武士による政治の先駆けとなりました。藤原道長はそれ以前の摂関政治の全盛期を築いた人物です。